

## 極東國際軍事裁判所

英米利加合衆國 其他

對 荒木貞夫 其他

## 宣誓供述書

供述者 山脇正隆

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ无ヅ別紙ノ通り宣誓ヲ為シタ  
ル上記ノ如ク供述致シマス

一、私、山脇正隆ハ元陸軍大將デ、現在、高知縣高岡郡北原村甲原三田八番地ニ住ンデ  
井マス。

二、昭和十三年（一九三八年）十二月十日教育總監部本部長ヨリ陸軍次官ニ就任シ  
シタ。就任當時ノ陸軍大臣ハ板垣中將デ、昭和十四年（一九三九年）八月下旬内閣總  
辞職ノ際板垣陸相モ辞任シマシタ。右ノ如ク板垣陸相ノ下ニ於テ陸軍次官トシテ輔佐  
ノ任ニ就キ在リタル間、同大臣ノ抱負、經綸、行動及人格識見等ニ付知ル所ガ多クア  
リマシタ。

三、私が右ノ如ク陸軍次官ニ就任ノ際、板垣陸相ハ其ソ國務處理ノ根本方針ヲ口頭ヲ以  
テ私ニ示サレマシタ。其ノ中記憶ニ殘ツテ井ル主要ナルモノハ、次ノ如クニアリマシ  
タ。

日本ト中國トハ争フベカラズ、相提携スベキデアル。不幸ナル現下ノ抗争状態ヲ絶  
止シ、一曰モ透カニ曰華和平ヲ實現スルコトニ全力ヲ傾注セバナラヌ。對外的ニ  
ハ外交ヲ調整シ、親交ヲ厚ウシ、ソ連ニ對シテハ國防ノ安全感ヲ得ルニ努メ、絕對  
平靜ヲ保持セバナラヌ。對内的ニハ軍紀ヲ緊肅シ、部内統制ヲ強化シ、萬一對中  
國和平ヲ達成ニ招來シ得ザル場合ヲ顧慮シ、國力ノ培養ニ努力ヲ致サバナラヌ。  
ト云フニ在リマシタ。板垣陸相在任間ノ努力ハ、堅ク右ノ方針ニ則シテ行ハレ、私モ  
之ヲ信條トシテ輔佐シマシタ。

四、中國トノ和平ニ關シ板垣陸相ハ、國交ヲ大乘的基礎ノ上ニ兩津シテ互ニ主權、領土  
ヲ尊重シ、文化、經濟方面ニ於テ共同互惠ヲ基トスベキヲ根本理念トシマシタ。一九  
三八年十二月二十二日聲明ノ所謂「近衛三原則」ハヨク陸相ノ主張ト合致スルモノト  
シテ、其ノ推進ニ非常ニ努力セラレマシタ。

唐紹儀氏、吳佩孚氏ト連絡シテ和平協力ヲ求メント企テタル近衛首相ニ協力シ、又  
汪兆銘氏以下國民黨要人ノ熱意ニ同調シ、汪兆銘氏ノ汪蔣合作ニ依ル新中央政府ノ成  
立ニ迄發展センコトヲ期待セラレマシタ。

緩和セントスル趣旨ヨリ、板垣陸相ハソノ成立ヲ希望シマシタ。私が板垣陸相ヨリ承知シタ所ニヨレバ、本協定ニ對スル日本政府ノ根本條件ハ「ソ」達ラ主ナル對象トスルモ、狀況ニヨリ英佛等ヲ對象トスルコトアルベク、其ノ後段ノ場合武力援助ヲ行フヤ否ヤハ一一狀況ニヨル。外部ニ對シテハ本協定ヲ以テ防共協定ノ延長ナルコトヲ説明ス。

ト言フニ在リマシタ。

然ルニ本協定ノ政治的効果ヲ組フ獨國ハ、英佛等ニ對シ、日本が當分兵力ヲ以テ參戰スルコトノ不可能ナルヲ認メナガラモ、形式上ハ參戰ノ對象ヲ一般的トシ、秘密諒解事項ハ一切之レヲ認メズトノ態度ヲ固守シ、交渉ヨラ賈スモ未セズ、此間政府部内ニ於テハ根本條件ヲ變ズルコトナワ、字句形式等ノ技術的工夫ニヨリ吾結ノ途ヲ發見セント苦心シテ協議紛糾シ、又獨國ハ曰本ノ眞意ヲ疑ヒ、協定ノ成立困難ヲ加フルニ至リマシタ。

陸軍ニ於テハ對中國和平、對「ソ」華安感ヲ得ル爲協定成立ヲ希望シ、形式的ニハ無條件無保留トナスモ亦己ムヲ得ズ、之レヲ以テ曰本ノ眞意ヲ獨國ニ了解セシムベシトノ議論ニ生ズルニ至リマシタ。

然ルニ板垣陸相ハ、一九三八年八月八日ノ五相會議ニ於テ陸軍トシテハ協定成立ノ爲ニハ我が精神ヲ生カセバ形式ヲ若干變更スルコトモ已ムヲ得ズト思料シアルモ、政府ノ既定方針變更ハ不可能ナルヲ以テ、自分ハ政府ノ既定ノ方針ヲ以テ締結スルコトニ全力ヲ盡ステアラウ。然シテ獨國ガ之ニ應ゼゲルニ於テハ、自分ハ其ノ政治的責任ヲトルノニ吝デナイ。

ト述ヤ、國務大臣トシテ政府ノ既定方針ニ則シタル立場ヲ明カニシ、部内ヲ統制シテ善處シタノデアリマシタ。

右ハ同日ノ五相會議後、板垣陸相ヨリ直接聞キ知ツタ所デアリマス。

六  
一九三八年六月十四日發生シタ天津英租界封鎖事件ハ事、現地北支軍ノ關係スルモノデアツテ、現地ノ交渉ニ卷シテアリマシタガ、六月二十日、クレーギー英國大使ヨリ會談ヲ東京ニ移ス件ニ付申入ガアリマシタ。コノコトハ現地軍ニ於テ希望シナイ氣分アリ、又國內デハ排英運動起リツツアツテ、此結果右翼分子ヲ中心トスルヲ穩空氣ノ抬頭モ豫期セラレマシタニ拘ラズ、曰華事變ノ速急解決ヲ愈願スル板垣陸相ハ、曰英會談ヲ圓滑ニ成功ニ導キ、曰本ノ眞意ヲ英國ニ傳フルノ好機トナシ、以テ曰華和平ヘノ一段楷々ラシムベシトノ趣旨ヨリ、右ノ由キ情勢ニミ拘ラズ右英國ノ申出デニ快諾ヲ與フルノ態度ニ出デ、其ノ圓滑妥協ヲ期待シマシタ。

七  
板垣將軍ハ誠實、溫厚ニシテ寛容ノ德ニ富ミ、事ニ處スルコト公明ニシテ一點ノ私心ナキハ自分ノ在任開確ニヨレヲ認メ、常ニ敬服シテ其所デアリマス。

昭和二十二年（一九四七年）五月 二日 於 東京

供 索 者 山 脳 正 隆 国

右ハ監立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ソ署名捺印シタルコトヲ證明

シマス

同 日 於 同 前

阪 垣 審 吉 國

NO.3.

DEF. DOC. 2471

宣誓書

實心ニ從仁眞實ヲ述べ何事ヲニ默秘セヌ又何事ヲニ附加セズル  
コトヲ誓フ

署名捺印

山脇正隆

